

油糧作物としてのヒマワリ品種の特徴

福島県農業試験場種芸部
平成17年度試験成績概要

1 部門名 特用作物－その他－品種
分類コード 06-99-01000000

2 担当者 青田聡・棚橋紺

3 要 旨

搾油用の春りん蔵(ホクレン)、ハイブリッドサンフラワー(カネコ種苗)、IS67 67(渡辺採種場)の3品種について、牛糞堆肥のみを施用し栽培し、特性を調査した。

(1)3品種とも生育は旺盛で、開花期はいずれも播種後60日前後となった。子実収量は、ハイブリッドサンフラワーでは台風通過後に立ち枯れ症状を呈し大幅に減収したが、春りん蔵は24kg/a、IS6767は29kg/aと多収であった。

(2)含油量は、春りん蔵が48%、IS6767が46%といずれも高かった。脂肪酸組成割合は、春りん蔵ではオレイン酸が72%と多く、IS6767ではリノール酸の割合が60%と多かった。

(3)以上の結果から、油糧作物としてヒマワリを栽培する場合、脂肪酸組成からみて「春りん蔵」が適すると考えられる。

4 その他の資料など